

モーターエクスプレス



モータースポーツ速報 iモード

アクセス手順

iMenuメニューリストスポーツ
モータースポーツ トーチュウF1 exp

Yahoo!ケータイ

4輪
ガソリン

初挑戦の篠塚が優勝

第20回アジアクロス
カントリーラリー(A
XCR)2015
グ6 14日 プレー
チェンマイ(タイ)
ペン&カメラ 古賀
敬介

20回の記念大会に多くの日本人選手が参加し、6日間、約2500kmの戦いに挑んだ。4輪は初挑戦の篠塚建次郎組(スズキ・ジムニー)が2位に入ってガソリンクラスを制覇、伊藤芳朗組(いすゞD-MAX)が4位、塙郁夫組(トヨタFJクルーザー)が8位。三菱アウトランダーPHEVの青木孝次組は総合20位も3年連続で電気自動車クラスV。地元タイの又タポン・アングリットハノン組(いすゞD-MAX)が総合優勝し、2輪は池町佳生(ガスガス)が制覇した。



66歳円熟の走り

2012年のラリーモンゴリア以来の実戦だった篠塚だが、ブランクと66歳という年齢を感じさせない走りを披露した。マシンは1・6ℓエンジンを搭載するジムニー。ジャングルを抜ける狭く



タイのラリーロードを快調に乗り切ったジムニー
③沿道の応援も力になったと喜ぶ篠塚

◆アジアクロスカントリーラリー最終結果◆
(8月9~14日/leg1~6)

4輪部門			
順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリットハノン	いすゞD-MAX	13時間56分22秒
2	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	1時間18分31秒
3	R・トライラッド	いすゞD-MAX	2時間46分00秒
4	伊藤芳朗	いすゞD-MAX	3時間30分35秒
5	B・プターヌタワ	三菱パジェロ	3時間57分54秒
8	塙郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間47分34秒
13	竹野悟史	スズキ・ジムニー	9時間37分01秒
14	浅井道浩	いすゞD-MAX	10時間02分49秒
15	青野泰久	スズキ・エスクード	10時間24分47秒
17	青木拓磨	いすゞMux	19時間36分42秒
19	西村文克	スズキ・ジムニー	25時間48分30秒
20	青木孝次	三菱アウトランダー	26時間05分29秒
21	飯島祐一	いすゞD-MAX	27時間06分27秒
25	新井敏弘	いすゞD-MAX	46時間39分34秒

※完走27台/出走28台

て曲がりくねった道が多く、軽量コンパクトな車両は合っていたが、大ベテランの熟練した走りとしてEJ千葉のグッドナビゲーションがなければ、総合2位という結果は不可能だった。

ゴールのチェンマイに戻った車両の多くが大きなダメージを受けているが、篠塚のジムニーはスタート前のようなきれいな走り。水没などでエンジンのスターターが壊れるトラブルに遭遇したが、悪路にもかかわらず大ベテランが安定した走りを続けた証しだ。

「タイに来たのは昔ラリーで走った時以来。それなのに私のことを覚えていてくれる人も多く、声をかけてくれた。うれしいよね。楽しく毎日過ごせた。いやいや本当に楽しかった」。1990年に優勝したアジア・パシフィック・ラリー以来のタイだったが、四半世紀前の快挙を覚えている人も多く、6日間を気持ちよく走った。

あつ大木に激突

拓磨総合17位

○：車いすドライバーの拓磨は散々な9回目の

2輪部門